

# 蘇った紫川人々が集う都市の「顔」に！



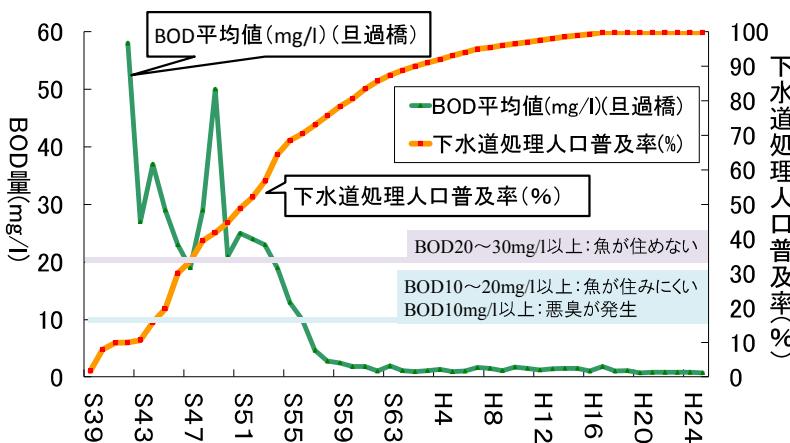
● before

➡➡➡ ● after

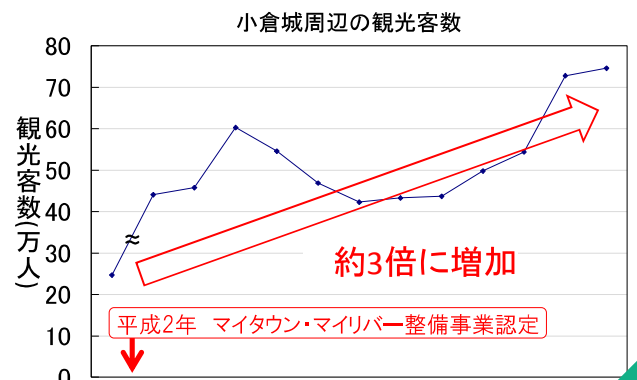


- 紫川の河川改修にあわせ、川を中心とした一体的なまちづくりを推進し、九州の玄関にふさわしい都市の「顔」としての水辺空間を創出、北九州市は、治水安全度を向上させ環境の街へ
- また、紫川は、以前死の川と呼ばれていたが、下水道処理人口普及率の増加もあり、水質は改善。
- 約2,000億円以上の民間開発の誘発や、観光客数が大幅増加と地域が活性化

紫川の水質と下水道処理人口普及率(平成25年度末)



紫川と周辺の整備事業効果



ストック効果